看護師・助産師・保健師を

2020年は『国際看護師・助産師の年』です。COVID-19感染拡大により、日本では二度目となる緊急事態宣言が発出されている最中も、看護師・保健師・助産師はすべての人の命と健康を守るため、各国の最前線で様々な活動を続けています。学生さんもまた、様々な形で社会に貢献しています。

感染症への対応は自治体保健師の重要な役割。自治体と協働した看護職としてトータルな対応のマネジメントが求められます。（大阪府看護協会　地域包括ケア事業部長　梶山 直美さん）

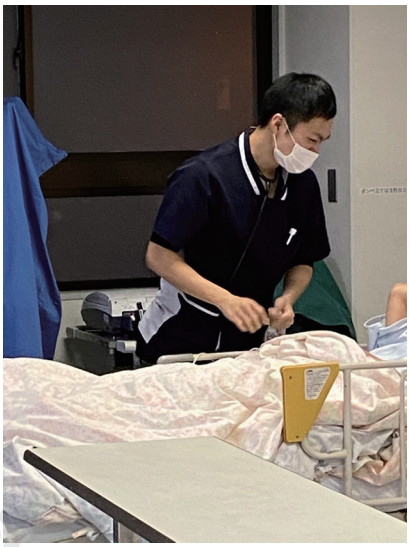
産科チームでお母さんたちが「生んでよかった」と思えるように、妊娠初期から産後まで温かい支援を心がけております。（市立柏原病院　助産師　峯村 真由美さん）

出典：JICA

JICA海外協力隊の活動を休止し、宿泊療養施設に従事しています。対面のやり取りが少ないため、電話越しの声色に注意しています。（堀江 真希さん）

感染症だけでなく、様々な不安や病気を抱える療養者さんが、安心した在宅生活を送ることができますように。（訪問看護ステーションおおみち　國方 健司さん）

脳神経外科で働く在日韓国人です。昨年度は認定看護師教育課程に参画しました。学びを還元できるよう頑張ります。（医療法人穂翔会　村田病院　尹 誠太さん）

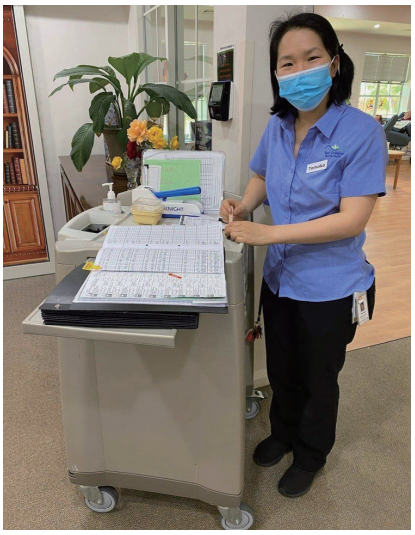


コロナ禍で不安と緊張の中、治療を受けている患者さんに安心・安全と癒しを提供しています。（森之宮病院　乳がん看護認定看護師　梅田真紀さん）

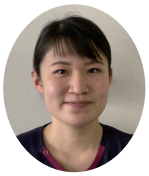
応援しよう！ Part 3

大阪府看護協会との共同企画は今回で最終回です。2020年世界保健デーのテーマでもある、「看護師、助産師を支援しよう！」にちなみ、国内外の第一線で働く方々、そして、看護を学ぶ学生さんの仕事、活動、熱い思いをご理解いただくために、彼・彼女らの"声"を皆様にお届けしたいと思います。

多国籍の仲間と一緒に、楽しく高齢の患者さんたちのケアをしています。
（East Grampians Health Service, オーストラリア　Parker 智子さん）



さまざまな事例に対して多職種としっかり連携し、安心して自宅で過ごせる質の高い訪問看護を提供いたします。（グリーン訪問看護ステーション　管理者　金 学範さん）



外来で患者様に安全・安心できる看護の提供を心がけ日々頑張っています。
（社会医療法人栄公会　佐野記念病院　塚本 吏沙さん）

本学長松准教授のプロジェクトに参加し、在日外国人にCOVID-19対策についてレクチャーしました。（聖路加国際大学看護学研究科国際看護学専攻　修士課程１年　松井 香保里さん）

Nursing Now（ナーシング・ナウ）とは？

Nursing Nowは、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的なキャンペーンです。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、Nursing Nowキャンペーン理事が運営しています。2021年6月までキャンペーンを展開します。看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動します。

出典：公益社団法人　日本看護協会　「Nursing Nowキャンペーン」
https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/index.html
（2020年8月20日閲覧）

Nursing now

看護の力で健康な社会を！